



2月号
(第420号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部

絆

高校三年学年主任 廣瀬 仁 美

七十六回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学年集会で私は今までたくさんのお話をする機会をいただきました。そして、とうとうこれからお話しすることが最後となります。

物事には始まりと終わりがつきものです。皆さんと最初に出会った入学式では、こんなに多くの人たちをお預かりし、学年の先生方と一緒に頑張らねばならないと身の引き締まる思いがしたことを覚えていてます。私が皆さんに対して心にかけてきたことは、自分から挨拶をしよう、声をかけていこうということでもシンプルなものでした。しかし、このシンプルに思えることが、実は難しく、継続してこそ意味があり、私なりに努力を重ねました。私も努力しましたが、皆さんもそれに応えてくれました。時間の経過とともに、私より先に挨拶をしてくれる人が増えていきました。朝、通勤してきた私を前庭で見つくと立ち止まり挨拶をしてくれた人。私が考え事をしながら歩いている時に、声をかけて気遣ってくれた人。下校時に遠く離れた所から、手を振ってくれた人。気がつけば、授業でプリントを配ると、「ありがとうございます。」と返答する人、また集めた物を先生に手渡すときに「お願いします。」と言って差し出す人。そういうことが当たり前になる人が増えていきました。とてもうれしく思っています。

皆さんとの思い出はたくさんありますが、その中でもやはり高校三年生の最後の体育大会は忘れられません。創作ダンスのエンディングで踊ってくれた曲「遙か」。皆さんとの絆が感じられる曲となりました。中学三年生の合唱コンクールで歌うはずだった曲です。コロナ禍のため、合唱コンクールは中止になり、皆さんの歌声を聞くことはできませんでした。その曲を最後にダンスで返してくれた皆さんの優しい思いに感動しました。

春からは、新しい場所で新しい出会いがあり、緊張と不安が入り交じる中で生活がスタートすることでしょう。人との絆を深めていく第一歩として、「挨拶」が大事だと思います。高校生活でそれを身につけた皆さんならこれから出来るはずですよ。ぜひ、自分から周りの人に声をかけていってください。ためらわず、「おはよう。」「また明日ね。」と少しの勇気を出して挨拶していきましょう。言われた人はきっと喜んでくれると思います。時には、思うような返事を返してくれない場面もあるかもしれませんが、人に何かを求めるのではなく、自分が動くことに意味があるのです。皆さんの努力を積み重ねていくと、皆さんの信頼を得るものです。信頼、それは目には見えませんが、皆さんにとって大きな財産となります。皆さんが、未来に向かって希望と勇気を持ち、前へ進んでいけることを願っています。

後のお話とします。またいつか会える日を心待ちにしています。これで、私の最後のお話とします。今までありがとう。



武庫川学院創立85周年を迎えて
風濤偕に和して―公江喜市郎先生の歩んだ道―

昭和六年（一九三一年）五月に欧米教育視察より戻られた校祖公江喜市郎先生は、理想の女子教育を確立したいという理念を掲げて、武庫川学院の設立に励まれました。そして、昭和十四年（一九三九年）二月二十五日に、文部省（現・文部科学省）から武庫川学院の設立と武庫川高等女学校設置の認可を受けました。以来、この日を「創立記念日」として今

日に至ります。

本稿副題にある「風濤偕に和して―公江喜市郎先生の歩んだ道―」とは、昭和四十二年（一九六七年）十月十五日に刊行された書物のタイトルです。この書物の三八九頁から、「一、兵庫県の教育と公江喜市郎先生」として、「一、戦後いちはやく教育復興に立ち上がる」というタイトルの文章があ

り、本学院設立後およそ五年が経つ頃の様子が綴られています。

敗戦後の昭和二十年、わが国の世相は混乱と虚脱のさ中であつた。その頃、公江喜市郎先生は今回の惨めな敗戦の原因を、教育の不振、わけても女子教育の不振不徹底にあつたと深く感じられ、戦災荒廃の焦土の中から、衆に先んじていちはやく教育復興を決意して立ち上がった。

敗戦の混乱は経済不安によって人々の生活を翻弄した。この物価の急騰にやむを得ず、武庫川学院に女子専門学校を創設したのであるが、戦災で鳥有に帰した校舎の復興が第一の急務であつた。

戦災私学にとって、戦災校舎の復興建築費の調達には、実に重大事であつた。僅かな火災保険も封鎖支払で受け取つたので、凍結された封鎖預金の解除申請が資金調達のための必要事であつたが、当時としてはこれが甚だ難しいことであつた。しかし、ひるんではならない。同様の立場にある全国の私学を糾合して全国的な大運動を行い、今こそ私立学校の復興を図らねば、あるいは戦災私学はこの機会に、わが国の敗戦と運命を共にして自然廃校に陥るかも知れないと先生は考えられた。そこで、兵庫県下の戦災学校の大同団結を計て、これを基礎に全国的な運動にと及ぼして行き、教育復興を世論に訴え、なんとかこの問題を解決しようと決心された。（略）

こんなことがあつた。当時の文部省の某局長は、「国が焼けて、国民の住む家もない状態の時に、私立学校のことで面倒が見られるか」と言つたという。これに対して公江先生は、「敗戦のこの日本に、精神の復興、国民の教育の復興において、そのほかに何が重要なものがありましようか」と、教育復興の決意の程を披露されたという。

戦後、武庫川学院も兵庫県下の私学も、みごとに発展を遂げてきたが、敗戦後の焦土の中から、教育復興にいち早く立ち上がった先達のことを、いつまでも忘れてはならないであらう。

改めて公江喜市郎先生が思い描く「立学の精神」の重要さ、そして公江先生の教育に対する熱意にふれることができました。今、私たちは大きな変革が求められている時代に生きています。この時代を乗り越えるために必要な力を私たちは「一生を描ききる女性力」と呼び、教育活動に励んでいるところです。この学校生活を通じて成長し、本学院が創立一〇〇周年を迎える十五年後、現在本校に在籍している生徒たちが、社会を支える芯のある人材となっていることを楽しみにしています。

写真は創立二十五周年を記念して、ご郷里氷上郡青垣町芦田村より寄贈された倉町野山の名石であり、公江先生により親子石と命名されたものです。八十五周年を迎える今なお本校の前庭で、私たちの学校生活を見守ってくれています。

令和五年度 SSH卒業研究発表会

二月三日（土）に本校図書館棟AV1教室で、令和五年度SSH卒業研究発表会を行いました。高校三年創造サイエンスコースの生徒たちは、英語で研究内容を発表しました。同コースの高校一年生



と二年生は、先輩の発表を聞き、積極的に英語で質問しました。

生徒たちがこの日を迎えるまでに、たくさんの方々に指導助言をいただき、研究を進めてくることができました。ありがとうございました。

SSH公開講演会

太陽活動と天気との関わりに迫る

二月三日（土）に武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、SSH公開講演会を行いました。今回は講師として、武蔵野美術大学の教養文化・学芸員課程研究室の宮原ひろ子教授をお招きしました。



気候変動に関する研究では、「宇宙からの影響がない」と考えられてきましたが、宮原先生の専門である「宇宙気候学」では、「宇宙からの影響があるのではないか」という観点で現在、研究が進められています。講演会では、地球のなりたちや太陽がどのような星なのか、太陽活動とは何か、昔の太陽活動の調査方法など宮原先生の研究内容の紹介の前に太陽に関する知識をしっかりと教えていただき、研究内容を知ることができました。

その他にも、宮原先生ご自身が研究テーマを決めることに苦労されたお話を聞くことができ、生徒たちは勇気づけられました。まだまだ解明されていないことに立ち向かう一人の研究者として、根気強く研究を続けるたくましさを見習い、本校生徒たちも研究に励みます。

GEC・グローバル発表会

二月十七日（土）に武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、GEC・グローバル発表会を行いました。



GECとは高校二年・三年の創造グローバルコースの中にある Global English Communication 系のことを表し、国際理解教育や英語教育に特化した教育活動を行っているクラスです。これまでの学びの成果を自分たちで工夫し、発表しました。

また今年度は新型コロナウイルスが五類へ引き下げられ、グローバル研修を四年ぶりに実施することができました。中学校・高等学校、それぞれの研修を振り返り、英語で発表しました。

発表内容

- ・ 中学グローバル研修 タイ王国 研修報告
- ・ 高校グローバル研修 オーストラリア 研修報告
- ・ 高校二年「OVERCOME」
- ・ 高校三年「The Bloom of Youth」

高校二年 創造グローバルコース
MSツアーへ行ってきました！

一月二十六日（金）に、高校二年創造グローバルコースは、MSツアー（校外研修）へ行ってきました。

本コースでは、探究活動のテーマとして持続可能な開発目標（SDGs）十七のゴールを六つの分野に分け、生徒が関心を持つ内容について、学びを深める活動に取り組んでいます。六つの分野とは、「食糧問題」、「エネルギー」、「ライフサイエンス」、「住み続けられる街づくり」、「環境問題」、「先端技術」としており、今回はそれぞれの分野に沿った校外研修を実施しました。行き先は次の通りです。

食糧問題	・明舞団地、アサヒ飲料、（株）パソナグループ ・公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス マクドナルド山手幹線尼崎店
住み続けられる街づくり	（株）パソナグループ、アサヒ飲料
環境	ホクト株式会社 （多気クリスタルタウン工業ゾーン内）、ヴィソン
・エネルギー ・先端技術 ・ライフサイエンス	アサヒ飲料、明舞団地



みんなで読書活動を
～中学全校読書会～

二月一日（木）七限目のLHRの時間に、中学全校読書会を行いました。

中学三学年を学年・クラスの枠組みを超えて、二十四のグループに分け、図書情報委員さんが司会・進行を務め、読書会を進めました。

一月十八日（木）には、読売新聞で「科学 基礎に『言語能力』というタイトルで、

本校の「朝の読書」と「学級文庫」が紹介されました。本校の読書活動

に関する生徒たちの率直な感想も取り上げられました。



第七十六回 高等学校卒業証書授与式

日時 三月三日（日） 午前九時三十分開式
場所 武庫川女子大学中央キャンパス
公江記念講堂

在校生・教職員一同、心から卒業生を祝福し、送り出します。

☆様々な分野での活躍☆

○バントフライング部

・第20回兵庫県スポーツバトンコンテスト兼第77回兵庫県民スポーツ大会 宝塚市立スポーツセンター（1/21）

選手権の部

選手権 ソロトワールU-18

選手権 2 バトンU-18 上村 小梅（高1）

選手権 3 バトンU-18 三上 真央（高1）

選手権 ダンストワールU-18 岩崎 愛和（高1）

選手権 中野 光咲（高3）

○柔道部

・第64回近畿高等学校柔道新人大会 兵庫県立武道館（1/26・27）

57kg級 2位 松井 芽央（高2）

○硬式テニス部

・第11回兵庫県中学校冬季テニス大会 団体戦 神戸総合運動公園テニスコート（1/28）

3位

○バレーボール部

・第69回兵庫県バレーボール高等学校男子女子新人大会 兵庫県立総合体育館（2/3・4）

5位

森本 和花（高2）が優秀選手として選ばれました

○コーラス部

・兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト2024 東灘区文化センターうはらホール（2/4）

中学1年生 銀賞 中学2年生 金賞

中学3年生 銀賞 高校1年生 金賞

高校2年生 金賞・兵庫県教育委員会賞（青少年の部1位）・兵庫県知事賞（全部門総合1位）

○書道部

・第68回 毎日全国学生競書展 太宰府天満宮

福岡県知事賞

鹿児島県教育委員会賞

毎日新聞社賞

毎日新聞社賞

○その他

スピードスケート

・令和5年度JOCジュニアオリンピックカップ大会
第47回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
YSアリーナ八戸（1/12・14）

女子マススタートレース 1位

女子チームパシユート 3位

女子総合部門 3位

・令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場（1/18・21）

女子1000m 3位 女子1500m 15位

・第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 北海道 苫小牧市ハイランドスポーツセンター（1/28・31）

女子1500m 第5位 女子3000m 第5位

女子2000mリレー 第4位

フィギュアスケート競技

・令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 山新スイングアリーナ（ひたちなか市）（1/17・20）

シングルスケーティングに出場

・第78回国民スポーツ大会冬季大会フィギュア競技 ne pia アイスアリーナ（1/27・31）

少年女子の部 第7位

兵庫県チームの一員として出場しました

高校入試 二次募集

・出願期間

（窓口）令和6年3月18日（月）～22日（金）16時
（郵送）令和6年3月18日（月）～22日（金）必着

入学考査日

令和6年3月25日（月）9時集合

※詳細は、ホームページをご覧ください。または本校事務室、入試相談室まで。

TEL（代）0798-14716436

3 月 行 事 予 定

日	曜	行 事 予 定
1	金	A 過 HR・学年行事（高3） 期末考査（高2・高1・中3） 通常授業（中2・中1） ▼一般帰国転編入考査願書受付（～11日）
2	土	卒業式予行（9：10 公江記念講堂） 自宅学習（高1以下）
3	日	第76回卒業証書授与式（10：00 公江記念講堂） 自宅学習（高1以下）
4	月	B 過 振替休日（3/3分）
5	火	期末考査（高1・中2・中1）
6	水	期末考査（高1・中2・中1）
7	木	期末考査（高1・中2・中1）
8	金	期末考査（高1・中2・中1）
9	土	休日
10	日	
11	月	A 過 自宅学習（高1・中2・中1）
12	火	答案返却・解説授業（高1・中2・中1）
13	水	答案返却・解説授業（高1・中2・中1）
14	木	学年集会・HR・得点確認票配布（高1・中2・中1）
15	金	自宅学習（高1・中2・中1）
16	土	中学卒業式（他学年自宅学習）
17	日	
18	月	B 過 自宅学習
19	火	自宅学習
20	水	春分の日
21	木	休暇中の諸注意・表彰式・大清掃 ▼一般・帰国・転編入入学考査
22	金	終業式・離任式
23	土	休日 武庫川女子大学オープンキャンパス
24	日	
25	月	A 過 ▼高校入試2次募集・1.5次追試・同合格発表
26	火	▼高校入試併願合格者入学手続き（13：00～）
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	